

美濃いび茶、出来◎

過去最高1^キ12万円 一番茶共販会



茶葉の出来栄えを入念に確認する茶商
たち＝揖斐川町極楽寺、J A全農岐阜
美濃茶流通センター

県ブランド茶「美濃いび茶」の一番茶の初共販会が2日、揖斐郡揖斐川町極楽寺のJ A全農岐阜美濃茶流

通センターで行われ、茶商たちが茶葉を手にとって香りや色、品質をじっくりと見定め、買い求めた。

美濃いび茶は同町と同郡池田町でおよそ90戸が計約100鈔で生産。今年は4月以降に好天に恵まれ、適

度に雨も降ったため茶葉の生育が進み、良質な出来といふ。

共販会には、3製茶組合と個人1人が計63点、4153^キを出品。県内10社の茶商が参加し、皿に盛られた茶葉を手に取り「勢い」と呼ぶ葉の強さや色、香りを確認したり、飲み比べたりした。

最高落札額は昨年を2万円上回る過去最高の1^キ12万円で、いび茶の里(揖斐川町)が落札した。

一番茶の共販会は月内に計4回行われ、6月の二番茶、10月の秋冬茶を合わせ、年間で約150^トを販売する見通し。
(宮本寛)